

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

われわれが日常ちゃんと決まった意味があるように思っ
て使っている言葉の中には、科学的にはその意味が極めて漠
然としたものがかかなり沢山ある。この数年来雪の研究を始め
てみて気が付いたのであるが、①その種の言葉の良い例が
「粉雪」である。

(中略)

北海道では、冬の初めと終わり頃には牡丹雪(ぼたんゆき)
も降るが、真冬の間は殆ど(ほとんど)粉雪ばかりであると
いうような事がよくいわれる。この場合の粉雪というのは牡
丹雪に対する言葉であって、それは雪片の状態の名称とまず
見るべきであろう。雪の結晶の中には普通よく写真に撮られ
ているような六花状のものの外にいろいろな変わった形の
もの、角柱状のものなど、非常に沢山の種類がある。

(中略)

粉雪という言葉が雪質を表すものとして使うとすると、そ
れは湿雪あるいは俗にべと雪という言葉に対照させてみる
のが一番早道である。雪がさらさらするほど上質の粉雪で、
べとつくほどスキーには適しなくなるのは周知のことであ
るが、このような問題を科学的に取り扱うとなるといまさら
のように、「科学の言葉」の不足に悩むのである。粉雪の問
題をもし物理的に取り扱うとすれば、まず「さらさらの度」
を測る要素を見出さねばならぬのである。そしてその尺度で
測ったさらさらの度合いが、スキー滑走の場合のいろいろな
力学的要素を直接支配するか否かを調べてみて、もし直接の
関係が見出されたら、初めてその尺度が求める粉雪の性質を
表すものとして採用できるのである。

【中谷 宇吉郎 「粉雪」より】

問1 —線部①その種の言葉とは、どのような言葉
のことですか。文章から二十文字で書き抜きなさい。

問2 雪について筆者が述べているものとして、最も
適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 北海道では、冬の初めと終わりに一番よく降る
のが粉雪である。

イ 粉雪とは、科学的に意味づけられており、その
大きさも決まっている。

ウ 粉雪は、雪片の状態や雪質など、色々な視点か
らの呼び名である。

エ 雪の結晶の種類は、六花状のものと角柱状のも
の二つのみである。

--